



115th CRC Seminar

奥田 傑 博士

大阪大学大学院 医学系研究科

グラム陰性細菌におけるリポ多糖輸送機構の解析

時間：2018年1月26日（金）15:00～16:00

場所：農学部6号館 103号講義室

グラム陰性細菌は細胞膜の外側にもう一つの膜構造を持っており、内膜がリン脂質二重層で形成されているのに対し、外膜は内側がリン脂質、外側がリポ多糖 (LPS) という非対称な構造で形成されている。LPSは外膜の外側を覆う糖脂質で、その親水的な糖鎖部分は多くの抗生物質の侵入を妨げる原因にもなっている。近年、多剤耐性を獲得した緑膿菌やアシネトバクター等の出現が問題となっているが、これらの細菌を含め外膜はほぼ全てのグラム陰性細菌において生育に必須であるため、LPS輸送機構の解明は新規抗生物質の開発へとつながる重要な課題である。本講演では、グラム陰性細菌の内膜から細胞表層へのLPS輸送機構について、精製因子を用いた解析により得られた最近の結果を含めて紹介する。

(問合先：寒冷バイオ・西山 nishiyam@iwate-u.ac.jp)